

Fiery proServer ユーザーガイド

printer の強力な生産向上ソリューション EFI Fiery proServer をご購入いただき、ありがとうございます。

SMB 印刷準備

次が完了していることを確認してください。

- Fiery proServer の物理コンポーネントが取り付けられ、Fiery XF ライセンスが起動されている (『*EFI VUTEK* インクジェットプリンタ用 *EFI Fiery proServer* の概要』および『*設置ガイド*』を参照)
- printer と連動するように Fiery proServer がセットアップされている (『*クイックスタートガイド*』を参照)

本書について

このドキュメントでは、インストール後に Fiery proServer を良好に稼働し続ける方法について説明します。本書では、以下のトピックについて説明します。

- Fiery proServer の前面パネル (コントロールパネルを含む) ([2 ページ](#)を参照)
- Fiery proServer の起動、終了および再起動の方法 ([4 ページ](#)を参照)
- Fiery proServer および Fiery XF の言語の変更 ([8 ページ](#)を参照)
- Fiery proServer システムのバックアップ ([11 ページ](#)を参照)
- Fiery proServer システムの以前の状態への復元 ([14 ページ](#)を参照)
- Fiery XF のライセンスファイルの再インストール ([16 ページ](#)を参照)
- アンチウィルスソフトウェアの使用 ([18 ページ](#)を参照)
- 問題のトラブルシューティング ([18 ページ](#)を参照)

Fiery proServer のコンポーネント

このセクションでは、Fiery proServer SE/ プレミアムのハードウェアについて説明します。ケースの型式が異なり、DVD ドライブを使用していない Fiery proServer 埋め込み式システムには適用できません。

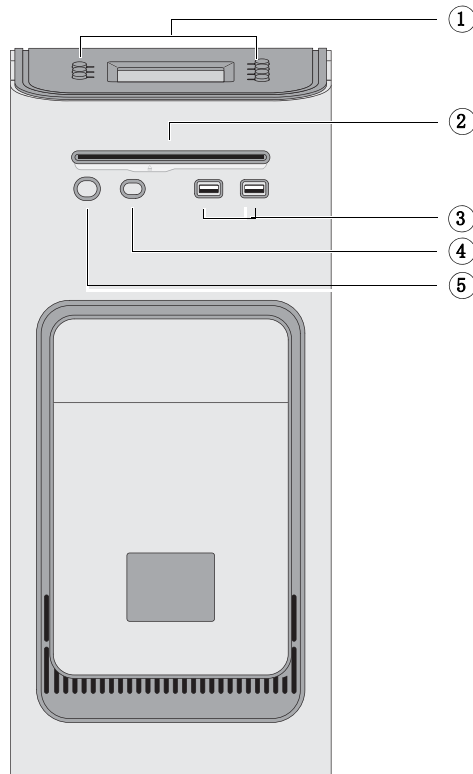


前面パネル

前面パネルは次のコンポーネントから構成されています。

Fiery proServer の前面パネル

- 1 LCD とライン選択ボタン
- 2 DVD ドライブ
- 3 前面 USB ポート
- 4 リセットボタン：使用しないでください
- 5 電源ボタン

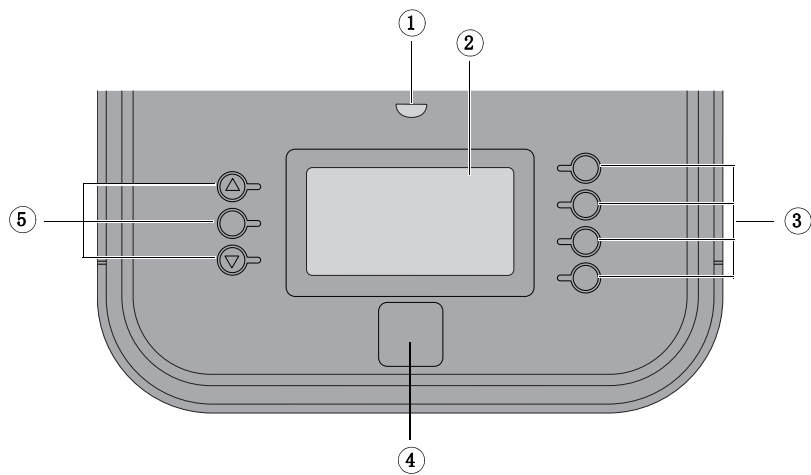


コントロールパネル

コントロールパネルは、Fiery proServer の前面上部にあります。

Fiery proServer のコントロールパネル

- 1 アクティビティライト (Fiery XF では使用しません)
- 2 液晶ディスプレイ (LCD)
- 3 ライン選択ボタン
- 4 ジュエル
- 5 ボタン (インストーラが使用)



注意

Fiery proServer のコントロールパネルを使用するとき、以下の注意を確認してください。

- 液晶ディスプレイ（LCD）の表面を押さないでください。
LCD に圧力を加えると色が変わります。
- レンズクリーナーで湿らせた柔らかい布を使用して LCD の表面を清掃してください。
水などの他の溶媒を使用すると LCD に傷がつく場合があります。
- LCD は注意深く扱ってください。
LCD が破損して中の液晶が漏れた場合、これに触れないでください。液晶に触れた場合、すぐに石鹼水で皮膚から洗い流してください。

ボタン

ライン選択ボタン	Fiery proServer のコントロールパネルの右側の 4 つのライン選択ボタン。LCD の対応するラインに表示されているコマンドを選択できます。
上ボタンおよび下ボタン	Fiery proServer では機能しません。
選択ボタン	Fiery proServer では機能しません。

コマンド

Fiery proServer の LCD には 4 つのコマンドがあります。

Fiery proServer のコントロールパネルの右側にある対応するライン選択ボタンを押すことによってコマンドを選択できます。

XF クライアント起動	Fiery XF を起動し、ジョブのロード、処理、および出力を実行できます。
XF オンラインアップデート	EFI Web サイトからソフトウェアのアップデートをダウンロードできます。すべてのアップデートを定期的に検索してインストールし、ソフトウェアを常に最新の状態に保つことをお勧めします。 Fiery XF では、どのアップデートがコンピュータにインストールされているかを確認できます。「ヘルプ」メニューから、「Fiery XF サーバ情報」をクリックします。「インストール済みの XF アップデート」タブに、現在インストールされているアップデートの一覧が表示されます。
XF Profile Update	EFI Web サイトから追加のメディアプロファイルをダウンロードできます。
XF Homepage	新しいプログラムのバージョンおよび出力オプションに関する情報を提供する Fiery XF ホームページを開きます。

Fiery proServer の終了、再起動、および起動

通常、Fiery proServer およびプリンタは常時稼働状態のままにできます。このセクションでは、必要ときに Fiery proServer を終了および再起動する方法について説明します。

重 要

常に以下の手順を使用してください。Fiery proServer の前面にあるリセットボタンを使用して、システムを終了または再起動しないでください。

FIERY PROSERVERを終了するには

- 1 **Fiery proServer がファイルを受信、処理、または印刷していないことを確認します。**
システムが処理を終了したばかりの場合、システムがアイドル状態になってから 5 秒以上待機し、それからこの手順を続行します。
- 2 **Fiery XF を終了します。**
「ファイル」メニューで「終了」をクリックし、Fiery XF クライアントを閉じます。次に、「Fiery XF Control」を右クリックし、「Fiery XF サーバの停止」をクリックして Fiery XF サーバを停止します。
- 3 **マウスポインタを画面の左下隅に移動し、Windows アイコンが表示されるようにします。**
- 4 **Windows アイコンを右クリックして「シャットダウン」か「サインオフ」にカーソルを合わせて、「シャットダウン」をクリックします。**
システムを完全に終了します。

FIERY PROSERVERを再起動するには

USB フラッシュドライブが Fiery proServer に接続されている場合、これを取り外してから再起動します。そうしないと、Fiery proServer は再起動しません。

- 1 **Fiery proServer がファイルを受信、処理、または印刷していないことを確認します。**
- 2 **Fiery XF を終了します。**
「ファイル」メニューで「終了」をクリックし、Fiery XF クライアントを閉じます。次に、「Fiery XF Control」を右クリックし、「Fiery XF サーバの停止」をクリックして Fiery XF サーバを停止します。
- 3 **マウスポインタを画面の左下隅に移動し、Windows アイコンが表示されるようにします。**
- 4 **Windows アイコンを右クリックして「シャットダウン」か「サインオフ」にカーソルを合わせて、「再起動」をクリックします。**
システムが再起動し、「ログイン」ウィンドウがモニタに表示されるのを待ちます。
- 5 **管理者のパスワードを入力し、「Enter」キーを押します。**

デフォルトの管理者のパスワードは「Fiery.1」です。パスワードは大文字小文字を区別します。ただし、管理者がパスワードを変更している場合があります。パスワードを忘れた場合、Fiery proServer を工場出荷時の状態にリセットする必要があります。詳細は、[14 ページの「Fiery proServer の以前の状態への復元」](#)を参照してください。

ログオンすると、Fiery proServer のデスクトップが表示されます。

FIERY PROSERVERを起動するには

- 1 Fiery proServer の背面にある電源スイッチを ON (I) の位置に設定します。

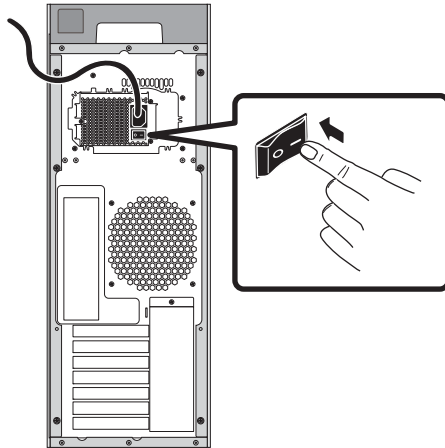


図 1: Fiery proServer の電源スイッチ

- 2 Fiery proServer の電源を入れます。

ボタンを押して離し、システムの電源をオンにします。電源で正しい電圧が検出されます。

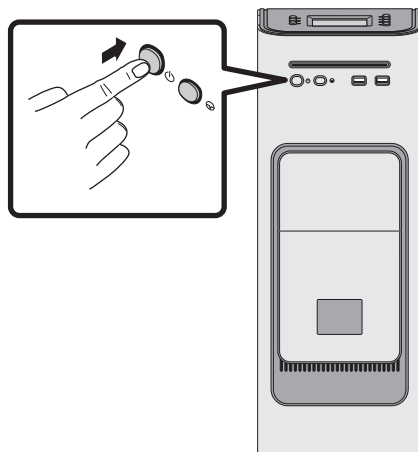


図 2: Fiery proServer の電源ボタン



- 3 モニターの Admin ログオンで、パスワードフィールドに「Fiery.1」と入力し、Enter キーを押します。

正確に「Fiery.1」と入力してください。パスワードでは大文字と小文字が区別されます。たとえば、「fiery.1」と入力しても無効です。

4 Fiery proServer のデスクトップがモニタに表示され、Fiery XF のコマンドが Fiery proServer の前面上部にあるコントロールパネルに表示されるまで起動処理を進めます。

Fiery proServer の起動には約 2 分かかります。

デフォルトでは、Windows タスクバーは表示されていません。タスクバーには以下のツールが表示されます。

-  Fiery XF Control。Fiery XF サーバを制御するためのツールです。
-  Fiery System Tools。オペレーティングシステムとキーボード、Fiery XF Control、および Fiery XF の言語を変更するためのツールです。

5 Windows タスクバーを表示するには、次のいずれかを実行します。

- タスクバーを表示するには、ポインターを画面の下部に移動します。
- 常にタスクバーを表示するには、タスクバーを右クリックして「Settings (設定)」をクリックします。「Settings (設定)」ダイアログボックスで、「Taskbar (タスクバー)」タブをクリックし、「Lock the taskbar (タスクバーをロック)」をオンにして、「Automatically hide the taskbar in desktop mode (デスクトップモードではタスクバーを自動的に非表示にする)」をオフにします。ダイアログボックスを閉じます。

Fiery XF Control のアイコンは、すぐにはタスクバーのステータス領域に表示されません。上向きの矢印をクリックして隠れているアイコンを表示し、Fiery XF Control のアイコンを隠れているアイコン領域からステータス領域にドラッグします。

Fiery XF

Fiery XF は、高速かつ高パフォーマンスのラスタイメージプロセッサ (RIP) であり、printer の色彩品質と生産性を大幅に向上させます。

Fiery XF の起動

Fiery proServer を起動すると、必ず Fiery XF が自動的に起動します。何らかの理由で Fiery XF を終了した場合、次の手順でプログラムを再起動できます。

FIERY XF を起動するには

1 次のいずれかを行います。

- デスクトップで Fiery XF クライアントのアイコンをダブルクリックします。



図 3: Fiery XF クライアントのアイコン

- Fiery XF Control を右クリックし、「Fiery XF クライアント起動」をクリックします。
- Fiery proServer のコントロールパネルで、「XF クライアント起動」コマンドに対応するライン選択ボタンを押します。

Fiery XF の起動時に、「ようこそ」画面が毎回表示されます画面は 3 つの部分に分かれています。

- 「最新情報」は新しいプログラムの機能、改善点、および追加したプリンタサポートについての情報を提供します。
- 「便利な使い方」は特定の Fiery XF 機能の使用例や使用方法についてのヒントを示します。
- 「ソフトウェアのメンテナンスおよびサポート契約」はお使いのソフトウェアのメンテナンスおよびサポート契約 (SMSA) のステータスを示します。このセクションのリンクをクリックすると、SMSA の期限を延長することができます。

起動時に「ようこそ」画面を毎回表示したくない場合は、「アプリケーションの起動時に表示する」チェックボックスをオフにします。ただし、ライセンスの期限が切れる 90 日前、30 日前、7 日前にライセンス期限延長のリマインダが表示されます。「ようこそ」画面をオンデマンドで再び表示するには、Fiery XF の「ヘルプ」メニューで該当する項目をクリックします。

Fiery XF ヘルプにアクセスする

Fiery XF には包括的なヘルプシステムがあります：

- このアプリケーションヘルプで、Fiery XF の各機能のセットアップと使用方法に関する詳細情報を入手できます。「ヘルプ」メニューから、「ヘルプ」をクリックします。
- 文脈対応ヘルプは、各ペインの設定を簡単に説明しています。プロパティインスペクタのメニューボタンから文脈対応ヘルプにアクセスできます。ペインバーのメニューボタンを右クリックして「ヘルプ」をクリックします。

ソフトウェアの更新

重 要

Fiery XF の設定を行う前に、ソフトウェアが最新かどうかを確認してください。ソフトウェアを更新するには、Fiery proServer からインターネットに接続する必要があります。

最新バージョンの Fiery XF がコンピュータにインストールされていることを確認する必要があります。選択可能なプログラムアップデートを検索し、ご使用のバージョンの Fiery XF が最新であることを確認します。

FIERY XF のアップデートを確認するには

- 1 Fiery proServer のコントロールパネルで「オンラインアップデート」のライン選択ボタンを押します。

2 使用可能なアップデートを選択して、ダウンロードします。

必ず一度に1つずつのアップデートを数字順にダウンロードしてください。
アップデートが表示されなくなるまで手順を繰り返します。

言語の変更

Fiery proServer の言語の変更

必要に応じて、システム言語を変更することができます。

注意：言語の変更には完了まで最大で15分かかります。言語の変更中は処理を中止できません。

言語の変更は、オペレーティングシステム、Fiery XF Control、および Fiery XF に適用されます。

FIERY PROSERVERの 言語を変更するには

- 1 画面下部の Windows タスクバーで、「Fiery System Tools」のアイコンをクリックします。



図 4: Fiery System Tools

- 2 画面の指示に従って、新しい言語を選択します。

言語の変更の最後に、Windows が自動的に再起動します。

Fiery XF の言語の変更

Fiery XF には独自の言語設定があり、Fiery proServer に対して行った言語設定よりも優先されます。そのため、Fiery XF を、オペレーティングシステムや Fiery XF Control とは別の言語で表示することができます。

FIERY XFの 言語設定を変更するには

注意：サポートされているアジア系言語を表示するには、Fiery XF が2バイトフォント対応のオペレーティングシステムで動作している必要があります。

- 1 System Manager の「編集」メニューで、「言語」をクリックし、言語をクリックします。
- 2 新しい言語を有効にするため、Fiery XF クライアントを再起動します。

Fiery proServer システムの管理

Fiery proServer SE/Premium

System Software DVD を使用することで、Fiery proServer システムを再インストールしたり以前の状態に復元したりできます。System Software DVD 1 を挿入すると、1 番目の画面で、Fiery proServer システムがインストールされる際の言語を選択できます。言語の選択は、オペレーティングシステム、Fiery XF Control、および Fiery XF に適用されます。詳細は、[15 ページの「Fiery proServer システムの再インストール」](#)を参照してください。

2 番目の画面では、以下のメニューが表示されます。

コマンド	説明
新規インストール	ハードディスクドライブ (HDD) のすべてのデータを削除し、DVD や USB ドライブなどのデータ保存デバイスから Fiery proServer システムをインストールします。詳細は、 14 ページの「Fiery proServer の以前の状態への復元」 を参照してください。
バックアップまたは復元パーティションから復帰	ハードディスクドライブのすべてのデータを削除し、Fiery proServer システムを、ハードディスクドライブ上の隠しパーティションから工場出荷時の状態に復元するか、バックアップから以前の状態に復元します。詳細は、 14 ページの「Fiery proServer の以前の状態への復元」 を参照してください。
ハードディスクドライブバックアップ	ハードディスクドライブのバックアップを、USB ドライブ、外部ハードディスクドライブ、またはネットワーククレーションなどのデータ保存メディアに保存します。バックアップを使用して、システム設定を以前の状態に復元することができます。詳細は、 11 ページの「システムをバックアップする」 を参照してください。
プラットフォームユーティリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードディスクドライブのすべてのデータを完全に削除します。 ・Windows タスクマネージャを開き、プラットフォーム固有の情報を収集します。

Fiery proServer 埋め込み式システム

Fiery proServer 埋め込み式システムをお持ちの場合、Fiery System ツールを使ってシステムを工場設定値にリセットするか、バックアップ状態に戻します。Fiery System ツールは、タスクバーの 1 アイコンとしてインストールされます。

バックアップを作成するには、USB スティックか外付けのハードドライブが必要になります。記憶媒体には 32GB 以上のストレージ容量があり、パーティションは 1 つ以下で、NTFS にフォーマットされている必要があります。

Fiery System ツールウィンドウには次のメニューがあります。

コマンド	説明
Back up your system (システムをバックアップする)	ハードディスクドライブのバックアップを、USB ドライブ、外付けハードディスク、またはネットワーククレーションなどのデータ保存メディアに保存します。また、ローカルハードディスクのサブフォルダにバックアップを作成することもできます。
View backup history (バックアップ履歴を表示する)	バックアップの作成された日付と時刻を表示します。
Restore system from a previous backup (前のバックアップからシステムを復元する)	ハードディスクドライブのすべてのデータを削除し、バックアップデータを使い、Fiery proServer 埋め込み式システムを前の状態に戻します。
Restore to factory defaults (工場設定に復元する)	ハードディスクドライブの隠しパーティションから、Fiery proServer 埋め込み式システムを再インストールします。この操作により、すべてのシステムデータが失われます。
Restore a backup made on a previous system (前のシステムで行ったバックアップを復元する)	新しい Fiery proServer 埋め込み式システムに既存のバックアップを復元します。
Create system recovery media (システムのリカバリメディアを作成する)	システムのリカバリパーティションのブータブルコピーを、USB ドライブや外付けハードディスクなどのデータ保存メディアに保存します。システムリカバリファイルを使って、Fiery proServer 埋め込み式システムを前の状態に戻すことができます。たとえば、ハードディスクを交換し、バックアップがない場合や、バックアップがネットワークの共有ファイルとなっている場合に便利です。
Change system language (システム言語を変更する)	オペレーティングシステムやキーボード、Fiery XF Control、および Fiery XF の言語を変更します。
Create network fileshare setup file (ネットワーク共有ファイルのセットアップファイルを作成する)	バックアップと復元のため、アクセスできるユーザーを認証情報で制限した共有ネットワークフォルダをセットアップできます。
Set up e-mail notification (通知メールのセットアップ)	1 時間以上かかるインストール、バックアップ、または復元が完了した時点で、通知メールを受信するように設定できます。

システムをバックアップする

現在の Fiery proServer システムのバックアップを作成すると、システムを工場出荷時の設定に復元せずに以前の状態に復元できます。Fiery proServer システムを以前の状態に復元する必要がある場合に備えて、Fiery XF システム設定のバックアップを定期的に作成することをお勧めします。

ジョブファイルをバックアップすることはできますが、サイズ制限により、Export フォルダに置かれている出力ファイルはバックアップできません。

注意：Fiery proServer システムのバックアップの作成には、使用するバックアップメディアおよびジョブデータの量に応じて、最大で 1 時間かかることがあります。

重 要

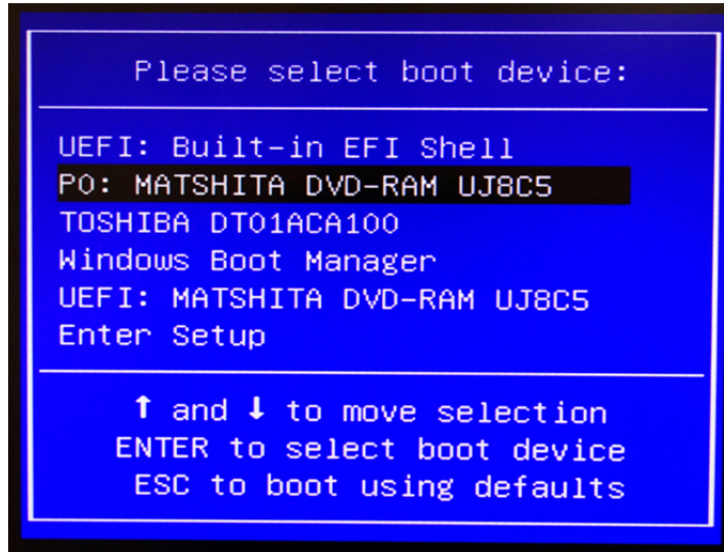
以下に説明されるステップでは、System Software 1 DVD を挿入するよう要求されます。埋め込み Fiery proServer を含むすべての Fiery proServer は、タスクバーにプリインストールされた Fiery System ツールのアイコン付きで出荷されます。このツールは、システム設定をバックアップして復元するため、またはお使いのシステムを工場設定状態に戻すための代替方法を提供します。

ハードウェアは DVD ドライブおよびインストール DVD なしで納入されるため、埋め込み Fiery proServer をお持ちの場合は Fiery System ツールを使用しなければなりません。Fiery System ツールを開始するには、タスクバーにあるアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。詳細については、[9 ページの「Fiery proServer 埋め込み式システム」](#)を参照してください。

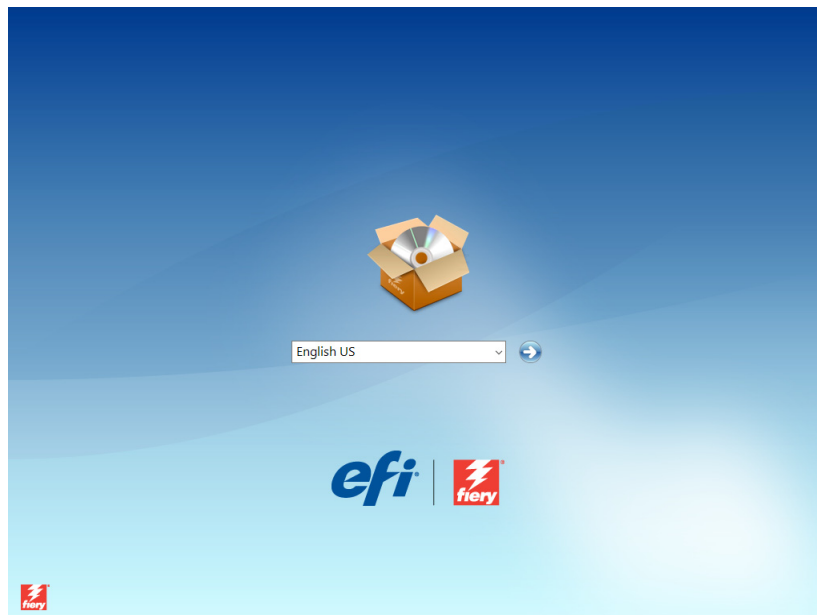
FIERY PROSERVER システムのバックアップを作成するには

- 1 Fiery XF を終了します。
- 2 System Software 1 DVD を挿入します。

- 3 Fiery proServer を再起動します (4 ページを参照)。再起動のプロセスが開始したら「F11」キーを押します。



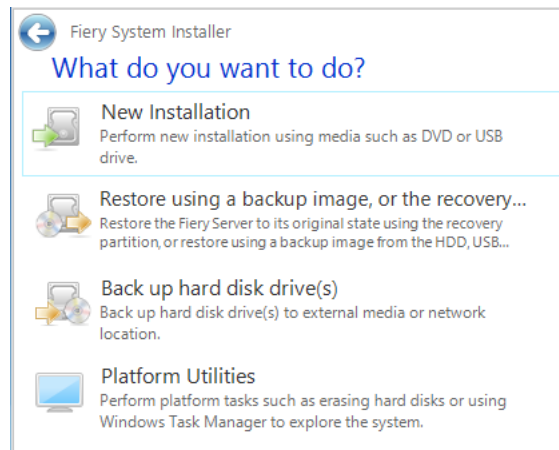
- 4 起動するデバイスを選択するよう求められたら、「Enter」キーを押します。
DVD からシステムが再起動し、Windows がインストールファイルをロードするまで待ちます。これには数分間かかります。
- 5 ドロップダウンリストボックスから言語の選択を要求されるまで、画面の指示に従って続行します。
これは、バックアップ手順中に使用する言語です。



6 バックアップ用のデータ保存メディアに接続します。

外付けハードディスクを使用する場合、500MB以上の空き容量があり、NTFSに設定されていることを確認します。また、同時に他のUSBデバイスが接続されていないことも確認してください。

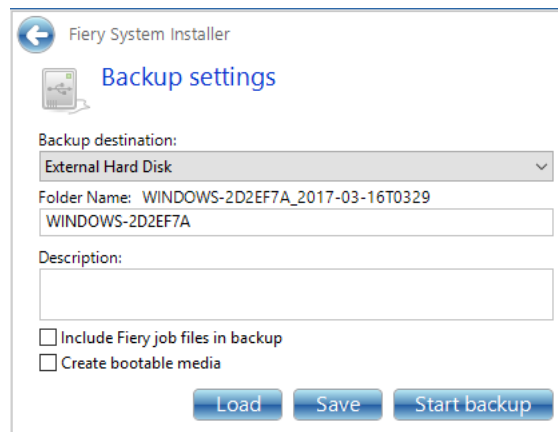
7 何をするか尋ねられたら、「ハードディスクドライブバックアップ」をクリックします。



8 「バックアップ設定」画面で、次を行います。

- バックアップの保存先として使用するデータ保存メディアのタイプを指定します。

USBドライブ、DVD、ネットワーク共有、または外部ハードディスクドライブを選択できます。



- システムのバックアップに、Fiery proServerにあるジョブファイルを含めるオプションを選択解除します。

- 起動可能メディアを作成するオプションを選択解除します。
起動可能バックアップを作成しないことをお勧めします。バックアップメディアから起動するためには、特定のコンピュータ設定が必要です。ご使用のコンピュータはこの設定になっていない場合があります。
- 9 「Start backup (バックアップを開始する)」をクリックし、画面の指示に従い、システムディスクのバックアップを続行します。
- 10 指示に従い、システムソフトウェア 1 DVD を取り出します。また、外付け記憶媒体も外します。次に、任意のキーを押して、Windows を再起動します。

注意：Fiery XF のライセンスのコピーを保存しておくことをお勧めします。詳細は、17 ページの「[Fiery proServer の設定の保存](#)」を参照してください。

Fiery proServer の以前の状態への復元

状況によっては、Fiery proServer システムを以前の状態に復元する必要があります。これは、以下の方法で実行できます。

- 以前作成したバックアップの使用
Fiery XF は、バックアップを作成した時点のすべての設定（システム環境を含む）で復元されます。バックアップ作成以降に行われた設定は失われます。詳細は、11 ページの「[システムをバックアップする](#)」を参照してください。
- Fiery proServer システムの工場出荷時の状態への復元
Fiery XF のライセンスおよびお客様のすべての Fiery XF の設定（システム環境を含む）はハードディスクドライブから削除されます。たとえば、デフォルトのパスワードを変更した場合やパスワードを忘れた場合に、Fiery proServer を工場出荷時の状態に復元する必要があります。
- Fiery proServer の新規再インストール
Fiery XF のライセンスおよびお客様のすべての Fiery XF の設定（システム環境を含む）はハードディスクドライブから削除されます。たとえば、故障したハードディスクドライブの交換後などに、Fiery proServer の新規再インストールが必要になります。

バックアップからの Fiery proServer の復元 /Fiery proServer の工場出荷時の状態への復元

Fiery proServer システムの以前の状態への復元には、使用するバックアップメディアおよび復元するジョブデータの量に応じて、最大で 1 時間かかることがあります。

重 要

以下に説明されるステップでは、System Software 1 DVD を挿入するよう要求されます。埋め込み Fiery proServer を含むすべての Fiery proServer は、タスクバーにプリインストールされた Fiery System ツールのアイコン付きで出荷されます。このツールは、システム設定をバックアップして復元するため、またはお使いのシステムを工場設定状態に戻すための代替方法を提供します。

ハードウェアは DVD ドライブおよびインストール DVD なしで納入されるため、埋め込み Fiery proServer をお持ちの場合は Fiery System ツールを使用しなければなりません。Fiery System ツールを開始するには、タスクバーにあるアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。詳細については、9 ページの「Fiery proServer 埋め込み式システム」を参照してください。

FIERY PROSERVERをバックアップから復元するには /FIERY PROSERVERシステムを工場出荷時の状態に復元するには

- 1 Fiery XF を終了します。
- 2 System Software 1 DVD を挿入します。
- 3 Fiery proServer を再起動します (4 ページを参照)。
DVD からシステムが再起動し、Windows がインストールファイルをロードするまで待ちます。これには数分間かかります。
- 4 Fiery proServer システムをバックアップから復元する場合は、バックアップメディアを挿入します。
- 5 ドロップダウンリストボックスから言語の選択を要求されるまで、画面の指示に従って続行します。
これは、復元手順中に使用する言語です。
- 6 何をするか尋ねられたら、「バックアップまたは復元パーティションから復帰」をクリックします。
- 7 バックアップ元を尋ねられたら、次のいずれかを選択します。
 - Fiery proServer システムを工場出荷時の状態に復元するには、「復元パーティションから回復」をクリックします。
 - 以前に作成したバックアップを復元するには、「このシステムのバックアップを検索」をクリックします。
- 8 画面の指示に従い、操作を続行します。プロンプトが表示されたら、ハードディスクドライブ上のすべてのデータを消去することを確認します。

手順の最後に、Windows が自動的に起動します。

Fiery proServer を工場出荷時の状態に復元した場合、ここで Fiery XF のライセンスを再インストールする必要があります。Fiery proServer をバックアップから復元した場合には、ライセンスはすでにインストールされています。

Fiery proServer システムの再インストール

Fiery proServer の再インストールには最大で 1 時間かかることがあります。

以下に説明されるステップでは、System Software 1 DVD を挿入するよう要求されます。埋め込み Fiery proServer を含むすべての Fiery proServer は、タスクバーにプリインストールされた Fiery System ツールのアイコン付きで出荷されます。このツールは、システム設定をバックアップして復元するため、またはお使いのシステムを工場設定状態に戻すための代替方法を提供します。

重 要

ハードウェアは DVD ドライブおよびインストール DVD なしで納入されるため、埋め込み Fiery proServer をお持ちの場合は Fiery System ツールを使用しなければなりません。Fiery System ツールを開始するには、タスクバーにあるアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。詳細については、9 ページの「Fiery proServer 埋め込み式システム」を参照してください。

FIERY PROSERVER システムを再インストールするには

1 次のいずれかを行います。

- Fiery proServer を実行中の場合は、Fiery XF を終了します。System Software 1 DVD を挿入して、Fiery proServer を再起動します。
- Fiery proServer がフリーズするか、応答しない場合は、システムの電源がオフになるまで、前面パネルにある電源ボタンを押し続けます。電源ボタンを 1 回押してシステムの電源をオンにしたら、すぐに System Software 1 DVD を挿入します。

DVD からシステムが再起動し、Windows がインストールファイルをロードするまで待ちます。これには数分間かかります。

2 言語を選択するよう求められたら、ドロップダウンリストボックスから言語を選択します。

これは、インストール手順中に使用する言語です。

3 何をするか尋ねられたら、「新規インストール」をクリックします。

4 「続行」をクリックして、ハードディスクドライブ上のすべてのデータを消去することを確認します。

5 画面の指示に従い、操作を続行します。DVD を挿入するよう求められたら、最初に System Software 2 DVD を挿入し、次に System Software 3 DVD を挿入します。

手順の最後に、Windows が自動的に起動します。ここで、Fiery XF のライセンスをインストールする必要があります。

Fiery XF のライセンスの再インストール

Fiery proServer システムを再インストールした直後、または Fiery proServer を工場出荷時の状態に復元した場合は、Fiery XF のライセンスを再インストールする必要があります。

FIERY XF ライセンスファイルを再インストールするには：

1 ドングルが Fiery proServer の背面パネルにある USB ポートにしっかりと挿入されていること、およびドングルの LED が点灯していることを確認します。

2 次のいずれかを実行します。

- 「Fiery proServer の設定」ダイアログボックスで、「Fiery XF をアクティブ化」をクリックします。
- Fiery XF コントロールを右クリックし、「Fiery XF を起動」をクリックします。

- 3 次のプログラムに対してこのコンピュータに変更を加えることを許可するかどうかを尋ねられたら、「はい」をクリックします。

「EFI アクティベーション」ウィザードが起動します。

- 4 使用許諾契約書をよくお読みください。使用許諾契約の条項に同意する場合は、「はい」をクリックします。

使用許諾契約の条項に同意しない場合は、使用許諾手続きが中断されます。

- 5 「自動」タブをクリックします。

- 6 「以前作成されたライセンスをダウンロードします」を選択し、「起動されたライセンスのダウンロード」をクリックします。

ライセンスファイルが生成され、コンピュータの「FlexLM」フォルダにダウンロードされます。

重 要

ライセンスファイルのダウンロード中に問題が発生した場合は、Web サイト <http://activation.efi.com> を参照し、画面上の指示に従ってライセンスファイルを生成してください。アクティベーション Web サイトが生成したライセンスファイルは電子メールで受信するか、お使いのコンピュータで指定した場所に保存することができます。ライセンスファイルをインストールするには、手順 1 ~ 4 以降に従います。次に「手動」タブで「ライセンスをインストール」をクリックし、ライセンスファイルを参照します。

- 7 「終了」をクリックし、「アクティベーション」ウィザードを終了します。

- 8 コンピュータを再起動してください。

Fiery proServer が再起動します。

Fiery proServer の設定の保存

Fiery proServer システムの設定が完了したら、以下の手順を実行することをお勧めします。

- USB ドライブ、ネットワーク共有、または外部ハードディスクドライブに、Fiery XF システムのバックアップを保存します。詳細は、11 ページの「システムをバックアップする」を参照してください。

システムのバックアップがあると、障害が発生した場合にシステムを以前の状態に復元できます。バックアップ手順の実行には、使用するバックアップメディアやジョブデータの量に応じて、最大で 1 時間かかることがあります。

- ネットワーク共有またはリムーバブルメディアドライブに、Fiery XF のライセンスファイルのバックアップを保存します。ライセンスファイルは、Fiery proServer の C:\Program Files (x86)\FlexLM にあります。

サイト管理者は、Fiery proServer を工場出荷時の状態に復元した後で、ライセンスファイルのバックアップを使用して Fiery XF のライセンスを再アクティブ化できます。または、アクティベーション Web サイトからメディアプロファイルをダウンロードすることができます。詳細は、16 ページの「Fiery XF のライセンスの再インストール」を参照してください。

- 将来電話で修理を依頼する際にサービス担当者が使用できるように、エンタタイトルメントアクセスコード（EAC）と、Fiery proServer に付属しているすべてのメディアを、安全ですぐに手の届く場所に保管しておきます。

System Software DVD とエンタタイトルメントアクセスコード（EAC）を使用することで、Fiery proServer の新規再インストールが可能になります。

アンチウイルスソフトウェア

Fiery proServer にはアンチウイルスソフトウェアがプレインストールされています。顧客とのファイル交換が頻繁に行われる生産環境では、アンチウイルスプログラムをインストールすることを強くお勧めします。

アンチウイルスプログラムをインストールするときは、以下のネットワークポートがブロックされていないことを確認してください。これらは Fiery XF の特定の機能に必要です。

ポート	用途
4108	Epson SpectroProofer
8010	双方向通信サービス
8020、8022	Fiery XF サーバと EFI プリンタ間の統合と接続性
8051、8052、8053、 8054、8061、8062、 8063、8064	Fiery XF サーバと APPE プロセス間通信（最大 4 回）
27000、27009、60000	ライセンス管理 /EFI Cut Server
50005 ~ 50026	Fiery XF サーバと Fiery XF クライアントとの間の通常の通信
20020 ~ 20021 (UDP のみ)	Fiery XF 検索

アンチウイルスプログラムをインストールする場合は、ジョブのウイルス検出を無効にしないことをお勧めします。

トラブルシューティング

次のセクションでは、Fiery proServer で発生する可能性のある一般的な問題の原因を説明し、その解決方法を示します。

Fiery proServer の設定を確認する

このセクションでは、問題の原因が Fiery proServer の設定の誤りではないことを確認する、簡単なチェック方法について説明します。

次を確認してください。

Fiery proServer が正常に起動している。

起動中に 4 回のビープ音の後に、3 回のビープ音、1 回のビープ音、および 2 回のビープ音が続けて聞こえた場合、メモリーに問題がある可能性があります。認定されたサービス / サポートセンターに連絡してください。

「Fiery XF Control」アイコンが緑色で、Fiery XF Control が実行中であることを示している。

「Fiery XF Control」アイコンは Windows のシステムトレイにあります。このアイコンが赤色の場合は、次を試してください。

- アイコンを右クリックし、ショートカットメニューから「Fiery XF クライアント起動」を選択する。

Fiery XF が dongle とライセンスを検索して表示された、「Fiery XF Control」ダイアログボックスを調べます。

dongle が検出されると、ダイアログボックスに dongle の ID が表示され、ライセンスの検索が続行されます。

- dongle とライセンスが検出されると、ダイアログボックスが閉じ、「Fiery XF Control」アイコンが緑色に変わります。
- dongle とライセンスが検出されなかった場合、ダイアログボックスが閉じ、「Fiery XF Control」アイコンは赤色のままになります。以下の説明のように、Fiery XF dongle がしっかりと接続されていることを確認し、「Fiery XF クライアント起動」をもう一度選択します。それでも「Fiery XF Control」アイコンが赤色のままの場合は、16 ページで説明されているように Fiery XF のライセンスの再インストールが必要な可能性があります。

- 不正なソフトウェアが Fiery proServer にインストールされていないことを確認する。

サードパーティのアプリケーションはサポートされず、システムで問題が発生する可能性があります。アンチウイルスソフトウェアは Fiery proServer で使用できませんが、ウイルススキャンは Fiery proServer がアイドルモード時（ジョブの処理や印刷を行っていないとき）にのみ行ってください。

- Fiery XF dongle があり、Fiery proServer の背面にある USB ポートにしっかりと接続され、LED が点灯していることを確認する。

dongle が USB ポートに接続されていても dongle の LED が点灯していない場合は、次を試してみてください。処置を実行しても問題が解決されない場合は、次の処置を実行してください。

- Fiery proServer の背面にある別の USB ポートに dongle を接続します。
- Windows の「デバイス マネージャー」を開き、dongle のドライバーが正しくインストールされていることを確認します。
- Windows アップデートを実行します。
- 次のメーカーサイトから、dongle のドライバーを再インストールします：
ftp://ftp.aladdin.com/pub/hasp/Sentinel_HASP/Runtime_%28Drivers%29/Sentinel_HASP_Run-time_setup.zip

- 別の dongle を入手して接続します。

printer への接続が正しく設定されている。

次の方法を試してください：

- **Fiery XF を使用して、printer でテストジョブを印刷する。**

詳細については、Fiery XF オンラインヘルプと、printer に付属するマニュアルを参照してください。

- **printer を再起動する。**

問題が解決しない場合は、printer のテストと修理が必要です。詳細は、printer の取扱説明書を参照してください。

- **問題の原因が特定の印刷ジョブまたはアプリケーションではないことを確認する。**

別のジョブを印刷するか、別の印刷アプリケーションを使用してみます。

ネットワークが機能し、Fiery proServer がそのネットワークに正しく接続されている。

次を確認してください。

- **Fiery proServer がネットワーク上のコンピュータのリストに表示されている。**

Fiery proServer がネットワーク上のコンピュータのリストに表示されていない場合は、ネットワーク上の別のデバイスに同じイーサネットハードウェアアドレスが割り当てられている可能性があります。

- **Fiery proServer の DHCP 設定が、顧客ネットワークの DHCP 設定と一致している。**

モニターに DHCP エラーメッセージが表示される場合は、Fiery proServer が存在しない DHCP サーバーを検索している可能性があります。Fiery proServer で DHCP はデフォルトで有効になっていますが、顧客ネットワークで DHCP が使用されていないことがあります。この場合、Fiery proServer に静的 IP アドレスを設定する必要があります。

問題が解決しない場合は、[21 ページの「インターフェース接続を確認する」](#)に進んでください。

Program Data ディレクトリで隠しファイルの表示が有効になっている。

特定のトラブルシューティングを実行するには、Program Data ディレクトリにある一部のファイルにアクセスする必要があります。

隠しファイルを表示するには

- 1 マウスポインタを画面の左下隅に移動し、Windows アイコンが表示されるようにします。
- 2 Windows アイコンを右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
- 3 コントロールパネルで小さなアイコン表示に設定します。

- 4 「フォルダオプション」、「表示」タブの順にクリックします。
- 5 「詳細設定」で「ファイルおよびフォルダー：ファイルとフォルダーの表示」を選択し、「隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する」をクリックします。
- 6 (オプション)「登録されている拡張子は表示しない」を選択解除します。
- 7 「OK」をクリックして、変更を確定します。

JobFolder ディレクトリが共有されている。

ホットフォルダーにアクセスできるように、Job Folder ディレクトリは共有されている必要があります。

JOB FOLDERディレクトリを共有するには

- 1 D:\ ドライブで Jobs フォルダを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 2 「共有」タブで「詳細共有」をクリックします。
- 3 「このフォルダを共有する」を選択します。次に、「全員」を選択して「アクセス許可」をクリックします。
- 4 アクセス許可のレベルを「読み取りと変更」に設定し、「適用」をクリックします。
- 5 「OK」をクリックして変更を確定し、すべてのウィンドウを閉じます。

出力フォルダが共有されます

Export ディレクトリが共有され、printer が Fiery proServer から出力ファイルにアクセスして取得できる必要があります。

出力フォルダとの共有を有効にするには

- 1 出力フォルダを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
お使いの Fiery proServer のモデルに応じて、出力フォルダは D:\ または E:\ ドライブのいずれかに設定されます。
- 2 「共有」タブで「詳細共有」をクリックします。
- 3 「このフォルダを共有する」を選択します。次に、「全員」を選択して「アクセス許可」をクリックします。
- 4 アクセス許可のレベルを「読み取りと変更」に設定し、「適用」をクリックします。
- 5 「OK」をクリックして変更を確定し、すべてのウィンドウを閉じます。

インターフェース接続を確認する

このセクションでは、問題の原因が Fiery proServer 背面の接続の緩みではないことを確認する、簡単なチェック方法について説明します。

次を確認してください。

- システムへのすべてのコンポーネントとインターフェースのケーブルが、Fiery proServer の背面にある正しいポートにしっかりと接続されている。接続を確認後、Fiery proServer を再起動してください。

Fiery proServer の背面にある正しいポートと接続の図については、『*EFI VUTEk* インクジェットプリンタ用 *EFI Fiery proServer* の概要』を参照してください。

- 電源ケーブルが電源コンセントに接続され、Fiery proServer の電源がオンになっている。

詳細は、5 ページの「[Fiery proServer を起動するには](#)」を参照してください。Fiery proServer が起動しない場合は、電源ケーブルを新品またはテスト済みのケーブルと交換してください。

- ネットワークポートの横にある上部 LED が点灯、または点滅してネットワークアクティビティを示している。

上部 LED が消灯している場合は、ネットワークケーブルが Fiery proServer の正しいネットワークポートと、顧客ネットワークのネットワークデバイスに正しく接続されていることを確認します。問題が解決しない場合は、ネットワークケーブルを新品またはテスト済みのケーブルと交換してください。

破損したシステムソフトウェアのトラブルシューティング

Fiery proServer の設定と接続を確認しても問題が解決しない場合は、システムソフトウェアの破損が問題の原因になっている可能性があります。

問題を修正するには、14 ページに説明されているように、Fiery proServer システムを以前の状態に復元します。